

令和3年度 公益活動げんき応援事業助成団体一覧

<げんき応援コース> 助成件数：22件

交付実績合計額：2,019千円

| No | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|---------------------------|-------------------------------|---|-----------|------------|
| 1 | NPO 法人 スマイル・エイジングパートナー | 地域高齢者の介護予防事業「脳の健康教室」 | 足立区内の地域高齢者を対象に「要介護」「要支援」になることを予防することに力を入れた「健康体操」「頭の体操」事業を行い、高齢者が住み慣れた地域で、地域交流を継続することができ、体力及び気力の低下を軽減する。 | 451千円 | 100千円 |
| 2 | NPO 法人 エコロジー夢企画 | エコ夢探検隊「足立区のトンボを調べよう！」 2021 | 「プールのヤゴ救出大作戦」は実施できないが、高まっている足立区の環境への興味・関心を途絶えさせないため、「足立区のトンボを調べよう！」のサイトへ目撃情報を投稿してもらい、情報を共有する。生物多様性の指標としてわかりやすいトンボへの関心を高めることで、生き物を育む心の醸成に役立つとともに、区の環境を考える一助にもなる。 | 138千円 | 100千円 |
| 3 | 千住プレイス | 『千住プレイス』...子どもの居場所づくり | 子どもの心理・社会的問題に関わる背景を理解し、地域で支援していく体制作りが求められている。学校生活や家庭生活の中で課題を抱える子どもたちに、自分らしく主体的に安心して過ごせる居場所の提供を継続的に行うことで、学校や地域社会に適応できる力を育てるようにする。 | 93千円 | 75千円 |
| 4 | 綾瀬サロンほっとミックス | コロナに負けないスマホを活用した顔の見える地域交流 | 高齢化率の高い足立区はスマホを活用できない方も多く、周囲から孤立し、災害時に情報難民となる可能性があるため、顔の見える交流と地域連携や情報ツールとしてのスマホ活用を伝える必要がある。サロン形式の交流イベントでスマホ講座を開き、情報難民をなくし、地域住民の連携・絆を強め、助け合いや地域活性化を生み出す事を目的とする。 | 97千円 | 92千円 |

| No | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|-----------------|---------------------------------|---|-----------|------------|
| 5 | スマイルリンク | ごはん de スマイル | 大型マンションが建ち、急激に人口が増え、住民が抱える様々な悩みを気軽に話せるような近所づきあいがなかなか築けないでいる。人との関係性が希薄になり、孤立感や困窮を抱えているご家庭（高齢者・ひとり親世帯・生活困窮者世帯）に向けたフードパントリーを通して各ご家庭の幸せに貢献し、人の力、地域の力を借りても良いと安心してもらい、地域交流を深めたい。 | 104 千円 | 100 千円 |
| 6 | | おむつ DE スマイル | コロナ禍で「終わらない育児」「終わらない介護」に関連した孤立化が進んでいる。また、生理の貧困の対象者の方への定期的なナプキン受け渡し場所がない。おむつ（ナプキン含む）を必要とする方を対象に、地域包括支援センターと連携して様々な企画を組み、多世代交流の場をつくる。また、生理の貧困の対象者が、他人にわからないようにナプキンの受け渡しができる場を提供する。 | 105 千円 | 100 千円 |
| 7 | 足立区ラグビーフットボール協会 | 墨東五区少年少女ラグビー交流会 | 足立区では、「楽しさに気づく」機会のひとつとして、運動・スポーツを「する・みる・支える」機会を提供することとしているが、東京都民平均と比べて、その機会が少ないことが窺え、裾野の拡大が課題である。ラグビーは衆目を集める競技となったが、「する・みる」機会が少ない。ラグビーを軸にした墨東五区の子どもと保護者の交流により裾野を広げ、「支える」人を繋げる契機を生む。 | 260 千円 | 80 千円 |
| 8 | NPO EUREKA | 中学生が「やってみたい！」と思う職業に出会えるキャリア教育講座 | 足立区では中学校2年生で職業体験があるが、地域差がある。また、区内には職業観や人生観を養うためのキャリア教育、子どもたちの力を引き出すエンパワーメント教育を実施する場が少なく将来のビジョンが持ちにくい環境にある。子どもたちが本気で夢中になることを見つけるためのキャリア教育活動として、イベントや講座を開催する。 | 195 千円 | 100 千円 |
| 9 | cotoca の 楽校 | 小学生の不登校支援事業 | 足立区の小中学校の不登校児数は約 1,000 人おり、家庭で過ごす以外に行き場がなく、社会から孤立してしまっている。子どもの心の安定を図るとともに、子ども自身が自分の存在意義を感じられるよう自己肯定感を高めることを目的に、食育の一環で畑でのワークショップの実施や、耕作体験および調理活動、創造力を伸ばす製作活動等を行う。 | 310 千円 | 100 千円 |

| No | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|---------------------------|----------------------------|---|-----------|------------|
| 10 | CoderDojo 足立 | プログラミング学習支援事業 | 令和2年度からの小学校のプログラミング教育必須化および令和3年度からの中学校のプログラミング教育の拡充に伴う、教育格差の解消が必要である。格差是正のため、無償プログラミング学習支援を定期開催することで、一般の有償プログラミング教室に通うことのできない低所得層の子ども達が、学校教育の補てんやより発展した学びの機会を得ることに寄与する。 | 96 千円 | 92 千円 |
| 11 | NPO 法人 あだち動物共生ネットワーク | オンライン譲渡会 | 足立区では、飼育環境および飼い主や近隣の住環境が悪化する事例からの相談や、飼い主の高齢化・転居等により飼育困難となり里親を探したいという相談が多い。サイトの整備や Web での発信力を高め、動画を含む足立区内の猫に関する情報に区民がアクセスしやすい環境をつくり、オンライン譲渡会を開催する。 | 294 千円 | 100 千円 |
| 12 | Code for Adachi | 足立区の子どもたちのタイピングスキル向上プロジェクト | 2021 年度から小中学校でパソコンの 1 人 1 台配布が始まるが、今まで多くの子どもは限られた形でしかパソコンに触ってきていない。その結果、タイピングの不得意な子どもが多くみられる。子どもたちのタイピングスキル向上のため、足立区在住の子どもが参加できるタイピングのスピードを競い合うコンテストを実施する。 | 100 千円 | 98 千円 |
| 13 | 足立ひきこもり家族会 | ひきこもり当事者及び家族に対する相談・支援事業 | ひきこもりは若者だけでなく、全世代へ拡大してきており、足立区にも推定 6,430 人（2019 年度ひきこもり実態調査より）存在している。当事者支援はもちろん、家族への支援も大切であるため、悩みを分かち合う居場所として、学び、情報交換、相談等の機会を提供し、ひきこもり問題の解決を図る。 | 65 千円 | 52 千円 |
| 14 | NPO 法人 石綿被害者支援の会 | 石綿被害者相談会 | 足立区内には、かつて 21 箇所の石綿製造関連事業所があり、石綿被害者が潜在的にいることが推定されるが、労災申請等の生活支援に関する相談機関が少ない。石綿被害が労災補償等の保証を得られるようにするための相談会を、過去に開催していない綾瀬、花畑地域で実施し、石綿被害者の支援を行う。 | 120 千円 | 81 千円 |
| 15 | NPO 法人 足立たすけあいワーカーズつみき | 放課後ひろば maru まる | 様々な理由で、家で親の帰りを一人で待つ子どもが増えている等、子どもたちが大切な人との交流、つながりが作れず、孤立してしまう現状がある。定休日のカフェを活用してワークショップ等を実施し、子どもたちが気軽に立ち寄り、地域とつながる居場所を開設する。 | 157 千円 | 100 千円 |

| No | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|--------------|---------------------------|---|-----------|------------|
| 16 | 虹色応援プロジェクト | 小学生のデイキャンプ体験事業 | 新型コロナウイルスの影響により、不登校の子どもが増加し、学校での体験学習・運動会などの行事が減少し、子どもたちのコミュニケーション能力や学習意欲の低下が懸念される。不登校親子のリフレッシュ機会や学校での体験機会の減少を補うため、小学生を対象としたデイキャンプ体験を実施し、子どもたちのコミュニケーション能力を育てる。 | 150 千円 | 96 千円 |
| 17 | 足立子ども組織を育てる会 | 遊び会の活動内容を充実させて、リーダーを育てる活動 | コロナ禍による遊びの機会の減少や、ひとり親家庭・ステップファミリーの増加により、子どもたちは多くのストレスを抱えている。友だちと遊ぶ楽しさ、異年齢集団で活動する楽しさを経験できる遊び会（デイキャンプ等）を実施し、学校・家庭とは違う「居場所」を見つける。また、子どものリーダーを育て、父母も一緒に活動して楽しむことで、親同士の交流にもつなげる。 | 161 千円 | 100 千円 |
| 18 | あだちデザイン LABO | アート体験ワークショップ事業 | 廃材を使ったアートに関するワークショップを開催し、作品制作を通して自分自身の価値観を育むきっかけとする。制作した作品は作品展で披露し、子どもたちの成功体験と環境問題に関する啓発を行う。自分らしさを表現できる作品づくりをサポートし、総合的な人間力を育成していく。 | 132 千円 | 100 千円 |
| 19 | 足立区女性団体連合会 | パープルリボン・アクション 2021 | 女性相談窓口、警視庁犯罪被害者対策室、DV 被害者支援団体、産婦人科等の連絡先を記したカードを作成して区内公共施設等 20 箇所に設置し、性暴力被害にあった女性を相談窓口や医療機関につなげることで、若年の望まれない妊娠を防ぎ、精神的、経済的に困窮した女性たちの再出発を支援する。 | 55 千円 | 55 千円 |
| 20 | ポルテホール連絡協議会 | つながれポルテホール | 長崎の被爆者 10 名のインタビューをまとめたドキュメンタリー映画の「上映会&トーク」を開催し、参加者それぞれが「違い」と「いまここにいるつながり」を共有する。「誰かの役に立ちたいけど何をしたらいいかわからない」といった新たな人材を掘り起こし、「協働・協創」のもと互いの個性や価値観を認め合いつなぐ仕組みをつくる。 | 100 千円 | 100 千円 |

| No | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|-------------------------|---|---|-----------|------------|
| 21 | Alliance YouToo | 足立区の生きづらさを抱える女性のエンパワープロジェクト 「YouToo」 | 足立区には無業・非正規就労の中高年非婚女性が潜在し、経済面・健康面・ジェンダー差別など自身の現状および将来に関する多くの課題を抱えている。無業・非正規就労の中高年非婚女性やその周りの区民、ソーシャルワーカーを対象にワークショップを実施し、女性たちの意識啓発や課題の再認識を図る。 | 151 千円 | 98 千円 |
| 22 | NPO 法人 女性を応援する SHINE | 子育てをすすめる女性のための食育 | バランスの悪い食生活が引き起こす生活習慣病は非常に多い。幼い子どもを育てる女性に、正しい食の知識を伝え、家庭内の食改善や子どもへの食の大切さの意識付けをするためのセミナーを開催する。心身不調の改善や生活習慣病の予防を図り、「クオリティ・オブ・ライフ」の向上につなげる。 | 119 千円 | 100 千円 |

<ステップアップコース> 助成件数：5件

交付実績合計額：1,700千円

| No | 団体名 | 事業名 | 事業内容 | 事業費 総額 | 助成金 交付額 |
|----|-------------------------|---|---|-----------|------------|
| 1 | NPO 法人 メタノイア | 平野日本語 教室(外国に ルーツをも つ子どもの 日本語教育 事業) | 幼児・小学生を対象に日本語教師有資格者が中心となつて第二言語としての日本語を教授する日本語教室を開催し、外国人児童を含むすべての子どもが持つて生まれた力を活かすことができる多文化共生社会の協創に寄与し、「誰ひとり取り残されない社会」の実現に資することを目的とする。 | 638千円 | 251千円 |
| 2 | 一般社団法人 ほしかぜ | 「オンライ ン盆踊り大 会2021」 事業 | 貧困により文化芸術に触れる余裕がない子どもたちが気軽に日本文化を体験できた町会の盆踊り大会は中止が相次ぎ、体験の場が失われる状況となっている。子どもたちが家庭環境に関わらず、等しく気軽に日本文化に触れ、体験できる場として、YouTube 生配信による「オンライン盆踊り大会2021」を開催し、より多くの子どもたちが日本文化に触れる機会をつくる。 | 801千円 | 600千円 |
| 3 | NPO 法人 ピースプロジ ェクト | 西新井地区 における誰 でも参加で きるピース 食堂実施 | 西新井地区で誰でも参加できる「ピース食堂」を開設し、「ふれあいと寄り添いのある子ども食堂」でバランスの取れた食事を提供する他「キックボクシング体験」「マジックショー」等のイベントを常に併設することで子ども食堂＝貧困家庭の利用のイメージを払拭し、長期に継続した活動を実施することで、様々な事情を持つ家庭の子どもたちの見守り場所として定着を図る。 | 975千円 | 600千円 |
| 4 | 育てよう！い のちの根っこ | 中学生に届 けるいのち の誕生授業 | 核家族化が進んでいる影響で、中学生の多くは赤ちゃんに触れたことがない環境にいる。また、学校での性教育も生命尊重という視点が少なく、命を考える機会が少ない。中学生に命の希少さを感じてもらうため、誕生学の講義と妊婦体験を実施し、小さな命を慈しむ気持ちを育む機会を提供する。 | 735千円 | 148千円 |
| 5 | NPO 法人 あだち音楽文 化の会 | 生演奏で子 どもや大人 の心を豊か にする事業 | 足立区の子どもたちは、五感を使って楽しみ、心が豊かになる「生演奏」に触れる機会が少ない。足立区の子どもたちに「生演奏」に触れる機会を作り、子どもたちの心を育て、足立区のすべての人に音楽文化を普及させるため、ピアノ等によるクラシック音楽演奏会を開催する。また、小学校等にも出向き、弦楽器や打楽器による参加型の演奏会を実施し、生演奏を体感してもらう。 | 3,062千円 | 101千円 |